

～ 1 円 銀 貨 について～

特徴や査定の注意点についてご紹介

1 円 銀 貨 の 誕 生

1円銀貨は明治4年（1871年）に新貨条例の制定とともに誕生しました。当時の日本は、江戸時代の複雑な通貨制度を廃止し、欧米にならった「金本位制」を目指していました。本来、日本は「金」を基本にしたかったのですが、当時のアジア貿易では「メキシコ銀貨」が広く流通していました。そこで、貿易をスムーズにするために、メキシコ銀貨と同じ重さ・質の銀貨を作りました。これが「大型1円銀貨」と呼ばれるものです。

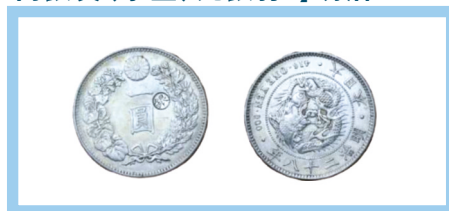
1 円 銀 貨 の 種 類

1円銀貨には様々な種類がありますが、いずれも銀900/銅100の品位で、重さは26.96gです。その中でも特に持ち込み&の多いものをご紹介します。

明治3年旧1円銀貨



【新1円銀貨(小型)丸銀打】明治20～30年



【新1円銀貨(大型)】明治7～20年



【新1円銀貨(小型)】明治20～30年



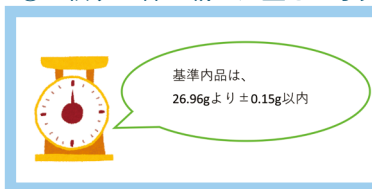
査 定 の 際 の 真 贋 ポ イ ン ト

査定の際は①～③のお写真をお願いいたします。

① 裏表の鮮明な写真



② 1枚ずつ秤に載せた重さの写真



③ 側面の写真



- ・ 表面がザラザラ
- ・ 26.96gとの差が±0.16g以上
- ・ 側面の彫りが一定でない



すべて**基準外**です！

ご不明な点がございましたら、商品部までお問い合わせ下さい。